

さまざまな場面で燃え抜けを防止する

フレキシブル不燃シリーズ

国土交通大臣認定品

アドマックス®シリーズ

V-3500 SJ

大型看板用不燃膜材料

白●透光率19.3%

マーキング
フィルム
対応

インクジェット
(溶剤系)
対応

吸水防止

高周波
ウエルダー
熱溶着

高透光性



不燃材料認定番号 NM-0672

(財)日本防災協会
防災製品番号 F-16068

V-1500 SJ

看板・パーティション用不燃膜材料

白●透光率17.6%

マーキング
フィルム
対応

インクジェット
(溶剤系)
対応

ワイド
(196cm巾)

高透光性



不燃材料認定番号 NM-0673

(財)日本防災協会
防災製品番号 F-16067

※接合方法については、弊社までお問い合わせ下さい。

V-1500 SH

パーティション用不燃膜材料

透明●透光率42.6%
アイボリー●透光率8.5%

シックハウス
対策

フッ素系
防汚処理

ワイド
(196cm巾)

高透光性
(透明のみ)



不燃材料認定番号 NM-0673

※接合方法については、弊社までお問い合わせ下さい。

ターポロン®

G-3500

膜構造物・テント倉庫用不燃膜材料

アイボリー●透光率4.5%

吸水防止

フッ素系
防汚処理

高周波
ウエルダー
熱溶着

カラー
バリエーション
(15色)



不燃材料認定番号 NM-0507
指定建築材料認定番号 MMEM-0006

(財)日本防災協会
防災製品番号 F-15124

内膜材

KS2500

テント倉庫内膜用ガラスクロス

建築基準法施行令第109条の5第一号、第二号に関する認定番号 UR-9010

- 当品目は樹脂コーティングを施していないガラスクロスです。
- 接合方法は、ミシン縫製等となります。膜材料相互の接合はJIS規格の指定ロープをご使用下さい。

⚠注意 本カタログの中のデータに適合しない使用条件で製品を加工、または使用すると事故やケガの原因となります。必ずデータに適合する使用条件内で製品を加工、または使用して下さい。

⚠注意 裏面の注意事項をよく読んで正しくお使い下さい。

規格・物性データ

品名	品番	幅×長さ cm×m	厚さ mm	質量 g/m ²	引張強さ		伸び率		引裂強さ	
					タテ N/3cm	ヨコ N/3cm	タテ %	ヨコ %	タテ N	ヨコ N
ターポロン®	G-3500	103×50	0.53	840	3820	3530	4.5	7.5	196	181
アドマックス®	V-3500 SJ	103×30	0.48	730	3300	3200	4.0	7.6	156	170
	V-1500 SJ	196×30	0.36	510	2440	1800	4.5	3.9	140	110
	V-1500 SH	196×50	0.36	510	2440	1800	4.5	3.9	140	110
内膜材	KS2500	205×100	0.18	215						
試験方法		JIS L1096			JIS L1096 A法(ストリップ法)				JIS L1096 C法(トラペゾイド法)	

※上記物性データはJISの定める測定法に基づいた測定値です。透光率はJIS Z 8722 試験方法にて測定した数値です。
 ※素材構成は、KS2500以外の品番では、ガラスクロス+特殊PVC樹脂コーティング、KS2500はガラスクロスとなります。

国土交通大臣認定について

- 不燃材料認定番号…建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、同法第2条第九号及び同法施行令第108条の2(不燃材料)の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。
- 指定建築材料認定番号…建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、建築基準法第37条第二号の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。
- 建築基準法施行令第109条の5第一号、第二号に関する認定番号…建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む)の規定に基づき、同法第22条並びに同法施行令第109条の5第一号及び第二号(同法第22条第1項の市街地の区域内にある建築物の屋根)の規定に適合する構造方法又は建築材料であり、国土交通大臣の認定を受けたものに付される登録番号。

シックハウス対策品について

- V-1500SHは、厚生労働省がシックハウス問題に関して示した化学物質の室内濃度指針値の対象となっている13化学物質(平成16年6月現在)を一切使用しない配合となっております。尚、厚生労働省の指針値に関する詳細については、厚生労働省のホームページをご参照下さい。→ <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/02/h0208-3.html#top>

注意事項

1. 本カタログに記載している製品は日本国内向けのものです。
2. 使用前に必ず品名・品番・色相・ロットNO・規格を確認してください。
3. 保管は、高温・多湿を避け、冷暗で平坦な場所に置き、変形するような積み方はしないでください。
4. 長時間保管されていた製品は、使用前に物性低下の有無を確認してください。
5. 極低温・極高温向けには設計されておりませんので、これらの用途に使用の場合は必ず弊社まで相談してください。
6. 熱融着による接合の際は、臭気が発生することがありますので、必ず作業場を換気してください。
7. 高周波ウエルダーで溶着する際は溶着部分に導電性を有する物質が付着していると、まれにスパークを起こすことがありますのでウエルダーバー及び膜材料の溶着部分に付着物の無い状態で溶着してください。
8. ガラス繊維は折り曲げに弱い性質があります。縫製時及び取り付けの際は、折り曲げ等に十分ご注意ください。
9. 縫い込みロープ、ハトメ部分の縫製時には必ず補強布を内側に当ててご使用ください。
10. 膜材料が鉄骨等と直接接触する部分には必ず補強(当て布等)をしてください。
11. 万一製品の異常により、出力状態に不具合が生じた場合、製品交換させていただきます。
施工代、プリント代等の責任は負いかねますので、十分事前テストを行ってください。
12. 洗浄する場合は、中性洗剤を浸した柔らかいスポンジ等で拭き取ってください。あとは十分に水洗い、乾燥してから使用してください。
13. サンプルの色相は、出荷時の現物の色相と若干違いのある場合があります。予めご了承ください。
14. 透光差がありますので、同一縫製品には、同一ロットNO.の使用をおすすめします。
15. 廃棄される際は、下記の方法で処理してください。
 - (1) 廃棄物処理法、都道府県条例等に従ってください。
 - (2) 許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
16. 質問、問い合わせ、より詳しい資料が必要でしたら、代理店または弊社まで連絡してください。
17. 本カタログの記載内容は改善のため事前の予告なしに変更することがあります。



平岡織染株式会社

HIRAOKA & CO., LTD.

東京 〒110-0011 東京都台東区三ノ輪1-21-7

TEL.03-3876-2111 FAX.03-3875-5627

大阪 〒541-0044 大阪市中央区伏見町4-2-14 藤村大和生命ビル5F TEL.06-6209-7000 FAX.06-6209-7011

URL <http://www.tarpo-hiraoka.com/> E-mail mailbox@tarpo-hiraoka.com